

第3次所沢市図書館ビジョン（素案）に対する ご意見と市の考え方について

「第3次所沢市図書館ビジョン（案）」について、皆様からお寄せいただいたご意見の内容とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

1 募集概要

（1）募集期間

令和6年11月22日（金）～12月21日（土）

（2）受付方法

直接持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請

2 募集結果

（1）応募件数 9名

（2）件数 66件

令和7年2月1日

所沢市教育委員会 教育総務部所沢図書館

電 話：04-2995-6311

F A X：04-2992-1421

メール：b9956311@city.tokorozawa.lg.jp

第3次所沢市図書館ビジョン(素案)パブリックコメント意見一覧

意見募集期間:2024(R6).11.22~12.21

NO	頁	項目	ご意見	市の考え方
1	56	ウ 青少年への図書館サービスの充実	<p>所沢市立図書館は、所沢市の有する人口規模の割には非常に使いづらい施設であると日々感じています。私は所沢市との図書館相互利用サービスで入間市の図書館も利用していますが、入間市の図書館は私たち中高生にとってとても使いやすい仕組みですので、ぜひ所沢でも取り入れて頂きたいです。所沢の図書館では以下の3つの点について改善して頂きたいです。</p> <p>1点目、蔵書の充実。私は学校の探究活動で国際紛争について扱っているのですが、所沢市の蔵書では大人向けの専門書にしかあたることができず、高校生の私にとってはとても難しい内容でした。入間市の図書館ではティーン向けの図書が充実しており、探究活動に役立てることができました。所沢市においては図書の専門性を高める方向だけでなく、現状の知見を一段階高めることに資する幅広い図書を取り揃えて頂きたいと考えています。</p> <p>2点目、開館時間の延長。私は東京都内の学校に通学しており、帰宅が早くても17時以降となってしまいます。しかし、所沢市立図書館の開館時間は木曜日を除き、17時までと遠くへ通勤、通学する市民にとっては使いづらい施設となっています。入間市の図書館では平日は20時まで開館しているので、私は自転車で入間市まで行き図書館利用をしています。より多くの市民にとって使いやすい図書館のために開館時間の延長をご検討ください。</p> <p>3点目、自習スペースの確保。所沢市の図書館には十分に自習することができる閲覧席がありません。所沢市の公式LINEより、図書館以外での自習スペースについても案内がありますが、児童館の自習スペースは前述の通り帰宅時間の影響で利用できません。また、その他の自習スペースについても不定期であったり、自宅から遠かったりして所沢市内に安定して自習できるスペースがありません。そのため、私は毎日入間市の藤沢分館まで行き自習をしています。武蔵野市の武蔵野プレイスなど、所沢市より人口規模の小さな街でも素晴らしい自習スペースを提供しています。そこで、所沢市立図書館においては、自習スペース及び閲覧席の確保を行って頂きたいです。</p> <p>図書館の利用者数が減少して行く中で、これからの図書館は読書以外の多様なニーズに応えていく必要があると考えています。第3次図書館ビジョンには、中高生向けの講演会、講座の開催を挙げられていましたが、これは元々図書館に興味のある、親近感のある中高生だけしか惹きつけることはできないと思います。中高生にとって使いやすい図書館であるためには、講演会よりも何よりも日々の読書以外のニーズに応えていくことだと思えます。</p> <p>以上、私の勝手な意見ではありますが現実として困ってはおりますのでご検討のほどよろしくお願い致します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>所沢市立図書館は、本館・分館あわせて8館あります。狭山ヶ丘分館は、木曜日が19時までの開館となっておりますが、本館は火曜日が19時(7~9月は20時)まで、所沢分館は平日19時まで、新所沢分館は平日21時まで開館しておりますので、どうぞご利用ください。</p> <p>また、引き続き蔵書の充実を目指すとともに、多様なニーズに応えるべく、多角的に取り組んでまいります。</p>
2	43 46 52	イ 出版環境の変化への対応 エ 情報リテラシー支援 イ 郷土資料の電子化	<p>国立国会図書館NDLのデジタルデータが飛躍的に充実しつつある。それに重複する形で自治体等がデータを拡充することは非効率なので、NDLの動向を勘案し進めてほしい。一方、NDLの利用は多くの市民にとってまだ簡単とはいえない。利用をサポートする仕組みやコンテンツが求められる。</p> <p>民間提供の電子書籍については、現時点で公立図書館がそれを収蔵したり、直接利用可能な形にすることは、難しいと思われる。業界の動向を注視しつつ、現状では市民のリテラシー向上、知識獲得につながるようなサポートの充実が求められる。</p> <p>たとえば、既にKindle Unlimitedは月額990円の有料電子図書館であり、公立図書館と補完的に利用することのメリットは大である。自治体がAmazonのサービスを前提とする施策を実行するのは難しいかもしれないが、具体的なリテラシー教育には実際に使える製品やサービスを例示することも必要と思われる。</p> <p>また、出版不況の傾向にあって、出版業界と図書館の関係の再検討が必要という声もある。端的には本が売れず書店の経営が成り立たない状況で図書館だけが安定的に存在し続けることは不可能ではないか、という危機感がある。それに対する試案として、図書館で書籍の注文ができるネットワークづくり、あるいは書店併設図書館などが検討されている。書店の減少は所沢市においても進行中であり、一考に値すると思われる。</p> <p>参考 図書館で本を販売する実証実験へ 児童生徒や高齢者が手軽に購入 「実証実験は、各地で図書館サービスを手がける図書館流通センターと出版取次大手の日本出版販売(日販)が、複数の図書館で行う予定」 2024年11月6日 共同通信</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご提案のありました国立国会図書館デジタルデータに関する情報提供については、市民の皆様が活用できるよう図書館がサポートしてまいります。</p> <p>それとともに情報リテラシー支援については、今後具体的なサービス展開の中で、検討してまいります。</p>

3	43	ア 図書館資料の収集と保存	<p>私は、所沢市図書館の愛好者として、いつも感謝しつつ、毎月4点から6点ほどの資料をお借りしている市民です。そこで第一に思うことは、公共図書館としての資料の収集・保存のあり方です。所沢市図書館の資料の収集・保存は、市民のニーズや社会状況等を反映した、比較的バランスの取れたものだと思いますが、市民の多様な文化的ニーズに十分に応えられるよう、購入・保存する資料数をもっと拡充し豊富化するべきだと思います。そこで、以下2点の要望・意見を申し述べます。(1)市予算の全体的な配分の問題もあると思いますが、せめて埼玉県平均値(一人当たり)並みに図書館関連予算を増やして下さい。(2)「選書」にあたっては、有識者等による「資料選定モニター」に任せ切るのではなく、広く一般市民の意見・要望も聞き取るような機会を定期的に設けて下さい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 (1)充実した図書館資料の収集に努めます。 (2)選書の方法といたしまして、有識者以外の一般市民からの要望等は、「リクエスト」で受けるとともに、利用者懇談会の開催や、来館者アンケートを実施しております。</p>
4	41	③魅力ある空間づくり	<p>趣旨に大賛成ですが、国内外の成功事例も参照しつつ、公共図書館の「魅力ある空間づくり」を支える大切な視点として、「一人でも複数人でも年齢も問わずに、各人が静かに学べる落ち着いた空間」「明るく開放的で程よい広さのある、誰にとっても心地よい空間」、さらには、「全ての市民が、自由に利用可能なバリアフリーな空間」といったような目標(将来像)も念頭において下さい。そして、中核市として保健所設置を目指すことと同様、「文化の街・所沢市」として、本館及び各分館の増改築も視野に入れた「魅力ある空間づくり」を目指して下さい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。将来を見え、利用者の皆様にとって、居心地の良い魅力ある空間を目指してまいります。</p>
5	2 4 5	「SDGs」や「Society 5.0」という表現	<p>所沢市総合計画や図書館法などの関連性がわかりにくい。「Society 5.0」は中央官庁でも今は使っていないのは。「SDGs」も6年間の賞味期限がある概念なのか、慎重に検討するべきだと思う。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 Society 5.0の概念は国が目指す未来社会像としてスマートシティ施策やデジタル田園都市国家構想総合戦略等に表れております。 SDGsは2030年までに達成すべき目標を掲げていますが、誰もが公平に良い教育が受けられ、また一生に渡って学習できる機会を提供することは図書館の役割と捉えています。</p>
6	33	イ 効率的な物流の検討	<p>「効率的な物流の検討」する際に「ところパス」とも連携できないか。「コンビニエンスストア図書等取次事業」は同じく「所沢市総合計画」に基づき立案されている「立地適正化計画」と微妙に矛盾する可能性もあるが、「SDGs」で雰囲気議論をすると、微妙な調整が難しくなる。「コンビニエンスストア図書等取次事業」が必要な利用者はどのような方々なのか、もう少し細かいニーズを把握した方が良いのではないかと。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 「所沢市立地適正化計画」において、図書館は集客力があり、まちの賑わいを生み出す施設となっており、市民の生活利便性の確保・向上の観点から、本館は集約施設、各分館は市全域に適正に配置されることが望ましい適正配置施設となっております。「コンビニエンスストア図書等取次事業」につきましては、図書館開館時間内に利用が困難な方や館の利用が不便な方に需要のあるサービスとなっております。</p>

7	40	②レファレンスサービスの充実と利用促進	レファレンスサービスは国会図書館から度々表彰されているようだが、結局何をしているのか良く分からない。どのようなレファレンスがあったのか、たまに発表会をしても良いのではないか。国会図書館から表彰されることではなく、所沢市民から表彰されることを図書館の方々が誇りに思ってもらえるとうれしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 レファレンス事例につきましては、図書館ホームページにて公表し毎月更新しております。また、国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供した過去の事例は、図書館ホームページのレファレンス事例集からリンクが貼ってありますのでご覧いただけます。
8	41	③ 魅力ある空間づくり	埼玉県「入札情報公開システム」を見ても1.2億円のLED工事が結局何をしているのか良く分からなかった。様々な利用者がいるとき、全ての空間をLEDの光で満たして欲しいのか、疑問がある。一定額以上の工事をするときには利用者へのヒアリングをしたほうが良いと思う。また、入札情報公開システムの入札書類を見たが、こうした図書館のビジョンの概要ぐらいはあったほうが、落札者が適切な工事が出来ると思う。 - 陰翳礼讃のような図書館の空間もあってよいのではないか。スタンディングデスクや半個室のような空間もあって良いと思う。机に関してももう少し付近の木材を使ったものにして欲しい。 - 所沢市の図書館だけに限らないが、多くの自治体の図書館の空間の作り方が「貧乏ハラスメント」のような空間になっており、学ぶことに一定の苦痛が伴うことを想起させる。 - 所沢市の図書館のco2排出量やエネルギー消費量を公表することは「SDGs」のどれかの原則に適合すると思う。恐らくどの図書館の建物も持続可能性が低く、次の世代はそのスクラップアンドビルドを要請されるのではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。 本館全照明LED化工事につきましては、水銀灯及び直管蛍光灯の製造・輸出入中止に伴うものです。 また現行の耐震基準に沿うよう、同時に高天井の落下防止の工事も実施しています。 空間については、居心地の良い場所となるよう努めてまいります。
9	43	ア 図書館資料の収集と保存	有識者等による「資料選定モニター」をもとにどのように選書しているのかももう少しわかりやすくして欲しい。 - サブスクリプションサービスの台頭で、レンタル屋が潰れたことにより、昔のマニアックな映画やマニアックな音源へのアクセスが非常に悪くなっているため、資料保存の観点からも図書館としても頑張ってもらいたい。「武蔵野鉄塔」という映画を見たいが未だに見れていない。 - 資料の購入時に、所沢市や近隣自治体の書店や取次を活用して欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 選書については、モニターやリクエストを参考に会議を開催しています。 資料購入については、埼玉県書店商業組合所沢支部と協定を結んでいます。
10	43	「出版環境の変化への対応」	最近出版社が「RFIDタグ」で「DX」の活用により「サステナブル」なものに改革しようとしているが、図書館としても実証的に参加できないか。	貴重なご意見ありがとうございます。実証実験の参加は難しいと思われませんが、出版社の動向に注目し、情報として活かしてまいりたいと考えます。
11	52	ア 郷土資料の充実	「郷土資料の充実」とあるが、図書だけでなくもう少し様々な資料を対象として欲しい。ファミコンのゲーム、ポルノ雑誌、まちづくり条例で提出された住民説明会の資料etc - 所沢市には歴史博物館が無いが、「旧所沢市役所」を歴史博物館のようにしていき、同時に図書館の郷土資料の専門図書館を併設出来ないか。80～90年代の国道16号線沿いにあったようなゲーセンのアーケード筐体で息抜きにゲームしたい。その利用料などでPFI事業化しても良いと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 図書館で収集する郷土資料につきましては、精査しながら選定してまいります。
12	53	イ 地域施設・団体との連携	「所沢ミュージズ」ともう少し連携して欲しい。例えば、音楽・演劇に特化した専門図書館のようなものを作れないか。文化施設と図書館が近接している事例は、相模原市の橋本図書館なり習志野市の中央図書館なり各地にあるが、毎年7億円を注ぎ込んでいるだけあって「所沢ミュージズ」はかなりユニークになってきているので、もう少し新しい取り組みがあり得ると思う。 -「早稲田大学」ともっと連携して欲しい。相互利用はもとより、「堤康次郎関係文書」などへのアクセスも改善できないか。「早稲田大学」にどのようなメリットがあるか分からないが、例えば航空公園付近の団地の建て替え時に格安の留学生寮を提供するなど考えられるのではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。 具体的な施策につきましては今後の検討となりますが、連携についてはp41に記載がございます。

13	61	(4)地域を支える 評価事項「郷土資料受入冊数」	KPIの一つとして「郷土資料受入冊数」があるが、受け入れるだけだと受動的すぎるので、郷土資料がどう活用されたか、どのような利用をされたかなども目標にした方が良いと思う。例えば、郷土資料を使った発表会の開催数や参加人数などだろうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 利用統計は取っておりますが、利用目的につきましては、個人に関する情報となりますので確認しておりません。
14	24	指定管理者制度について	「指定管理者制度」を導入しているがどちらかという「業務委託」のような印象を受ける。具体的にどのように民間の発想が図書館に反映されたのか。VFMも公表して欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 指定管理者の運営により、多種多様な事業を展開するとともに、開館時間の大幅な拡大を図ることが可能となりました。また、指定管理者選定結果につきましては、所沢市のホームページで公表しております。
15	22	【目標指標達成状況】 指標名「子ども1人当たりの児童書数」 説明 0歳から18歳の子どもの1人当たりの市立図書館が所蔵する児童書数	今後も、この指標を使用するのであれば、計算方法を変更していただきたいと思います。 児童書とは、乳幼児から小学生、中学生くらい(0歳から13、14歳くらい)までを対象にした図書のことをいうそうです。 現在の計算は、分子と分母が異なる基準になっていますので、一致するようにしていただきたいと思います。 なお、私見になりますが、中学生くらいになると、児童書を卒業してもう少し大人向けの図書に移行していくと思います。 したがって、「0歳から14歳の子どもの」ではなく「0歳から12歳の子どもの」にした方が現実的だと思います。 また、第3次所沢市図書館ビジョン(素案)の中に記載があります。 ウ 青少年への図書館サービスの充実 読書離れの著しい中学生・高校生向けの蔵書を充実させるとともに、講演・講座の開催やイベントの企画を行っていきます。 客観的な状況を明確にするために、「中学生・高校生の子ども1人当たりの市立図書館が所蔵する中学生・高校生向けの蔵書数」という指標を新設していただくことを提案します。	貴重なご意見ありがとうございます。 一般向けに出版されているものでも所沢図書館が児童書として排架するものを含めて児童書としております。「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」でも同じ指標を設定していることから、今後の参考とさせていただきます。
16	60	2. 評価事項及び数値目標	現状値の年度がバラバラになっていますので、統一していただけませんか？また、西暦表記が全角、半角、全角+半角となっています。令和4(2022)年度令和5(2023)年度令和6(2024)年度公文書ですから、表記を合わせていただきたいと思います。	ご指摘のとおり修正いたします。
17	60	【事業施策目標数値】 (1)暮らしを支える 評価事項「レファレンス件数」	毎年度2%増を見込んで算出することですが、時代錯誤のご提案のように感じます。まず7ページのご説明と矛盾していると思います。(3)レファレンス件数 スマートフォンの普及などにより、市民自らが調べて解決することも多くなり、レファレンスサービス※の件数は減少傾向にあります。また、レファレンス対応は、結構手間がかかることですので、図書館の職員にとっては負担増につながります。私も過去一度だけ利用したことがありますが、図書館の職員の負担になっているように感じたのでそれ以降は利用していません。無理にレファレンス対応を増加させる指標を設定すれば、いままでの業務に支障がでるような気がします。業務増になれば、当然経費増につながります。しかし、そのような予算があるなら、図書の購入費に充当していただいた方が、図書館の価値は上がると思います。利用者同士のコミュニケーションツールを用意して、その中で対応する方法(例Microsoftが導入済)を構築したり、AIを活用(多くの企業が自社のホームページで顧客からの問い合わせ対応に活用中)した方が、将来を見据えた場合、職員が対応するレファレンスよりも、効率的だと思います。職員が対応するレファレンスは属人的な要素が高いので、同等の効果がある他の方法を構築した方が安定した図書館サービスの提供につながると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 インターネットで公開されている情報には不確かなものが多く含まれています。その中から信頼できる確かな情報を得ることは今後一層重要となります。従って、図書館が長年蓄積してきた蔵書や信頼できる情報を使い、質問に合わせてコミュニケーションを取りながら提供するレファレンスサービスは、多様な市民の要望に応えるために欠かせないものと考えます。

18	62	【事業施策目標数値】 (5) 未来を支える 評価事項「本を全く読まない子どもの割合」	第4次所沢市子どもの読書活動推進計画に基づき毎年行っている「所沢市子どもの読書アンケート調査」で1ヶ月間の読書冊数が0冊の子どもの割合(単位%)本を全く読まない子どもの割合を減らそうという意図はよくわかります。中学3年生や中学受験する小学6年生は、受験勉強で読書まで手が回らないと思いますので、割合の計算をする際に配慮し、そのことを補足していただけたらと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 文部科学省が実施した「親と子の読書活動等に関する調査研究」を参考に小学2年生、5年生、中学2年生を対象としたアンケートを実施し、指標を「第3次所沢市教育振興基本計画」、「所沢市子どもの読書活動推進計画(第1次～4次)」でも設定しているため、指標の対象学年を他の計画と同一のものとします。説明欄を分かりやすく修正します。
19	56	ウ 青少年への図書館サービスの充実	在勤者として江東区立図書館を利用していたことがあります。参考事例になると思いますので、共有させて下さい。 https://www.koto-lib.tokyo.jp/viewer/info.html?idSubTop=2&id=67 図書館毎に方法が異なるようですが、私が実際に状況を見たことがあるのは豊洲図書館になります。色々と工夫がされていると思いました。例えば、このコーナーは、図書館の入口付近の設置されており、図書館の利用者全員の目の付くところにありました。したがって、小さい子が、成長したら、このコーナーを本を読めるようになりたいというきっかけにすることができそうだと思います。また、このコーナーの蔵書のタイトルを参照すると、親目線で、中学生・高校生の子どもが、普段からどのようなことを考えているのか？どのような悩み事を抱える可能性があるのかを知ることができるので、親が子どもを見守る際の事前のアンテナをはることにもつなげられると思いました。やり方次第で、中学生・高校生の読書を推進する以外の副次的な効果も期待できると思います。既にご存知でしたら、ご容赦下さい。	具体的な事例に関する情報提供ありがとうございます。今後の青少年へのサービスの充実に向けて、貴重な意見として参考にさせていただきます。
20	36	2. 施策体系図 (1)暮らしを支える	1 課題解決の支援の工 多文化サービスの充実が重点的な取組になっています。ところが、(1)暮らしを支える の評価事項 は、レファレンス件数 になっています。評価事項を1つに絞るのであれば、重点的な取組とされている多文化サービスの充実に関するものを評価事項にしないと、整合しません。評価事項をレファレンス件数にするのが適切であれば、レファレンス件数に関連するものが、重点的な取組になるはずですが、(2)学びを支えるも同様です。1 資料収集と蔵書構成の充実のオ デジタルアーカイブ化の推進が重点的な取組になっています。一方、評価事項は資料回転率となっており、整合していません。補足まる1(1を丸で囲んだ文字)は、電子申請でエラーになるので1に変更しました。所沢市はDX化をしようとしています。電子申請でエラーになる文字は使わないでください。もし、使用して構わない文字ならば、今後、電子申請でエラーにならないようにして下さい。この部分もパブリックコメントの意見として取り扱って下さいます様お願い申し上げます。	貴重なご意見ありがとうございます。 図書館の根幹を成す目標であるため、基本的に第1次で指標として挙げているものを継続して目標を定めて取り組んでいます。 現状にそぐわなくなったものや既に目標を達成した項目については変更しています。 電子申請の不具合につきましては、担当部署へ報告します。
21	4	「Society 5.0」という表現	「Society5.0」と「図書館」の融合、とても重要。こうした問題意識を持っている自治体は恐らく所沢市が最初で最後なので、緊張感を持って様々な取り組みを加速させて頂きたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後緊張感を持って、努めてまいります。

22	7	(2) 予約受付件数	インターネットを通じて予約する割合が年々増加について「elcielo」が絶望的に使いにくい。何が使いにくいかを説明するのも絶望的に面倒くさいくらい使いにくい。web経由の予約が増えているよう記載があったが、限界があると思う。図書館の検索予約システムが多くの自治体である程度共通化されていることは理解できるが、日本の図書館業界がこういう使いにくいシステムを利用者に押しつけるのは本当にやめて欲しい。「Society5.0」と「図書館」の融合させようというときに、こういう共通システムしか作れないならば、司書の待遇改善とか無理だと思う。「コンビニエンスストア図書等取次」でメールでは「図書等を配送できませんでした」とメッセージが来るのに、「elcielo」で見ると予約のタブで「コンビニ」にある状態だと、結局どこに行けば良いのかわからない。本の名前でweb検索しても所沢市の「elcielo」の検索結果が出てこないのが残念。URLの構造的にSEO対策とか難しいのだろうが、所沢市が保有しているややマニアックな本の認知獲得など膨大な機会損失を生んでいると思う。同じ理由だと思うが、図書館のレファレンスの事例もweb検索に出てこない。	貴重なご意見ありがとうございます。詳細についてお知りになりたい場合は、別途お問い合わせください。また、図書館のシステムが使いやすくなるようシステム会社と相談してまいります。
23	23	(4) 安心して利用できる環境の構築 「書庫消火設備改修工事」	蔵書数は100万冊程度だが、そもそも書庫が必要なのか。「八重洲ブックセンター」の旧本店や「丸善 丸の内店」などは和書100万冊程度揃えていると思うが、全て書棚にあると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。蔵書するすべての本等を書棚に並べるのは不可能であることから、書庫は必要と考えます。
24	33	イ 効率的な物流の検討	個人的に、本の予約から到着までの配送が速すぎると思う。amazonでも最近では2～10日掛かることもあるので、予約のない本の配送は3～5日程度が良いのでは。もちろん速いに越したことはないが、今後「コンビニエンスストア」や図書館分館を増やしたときに、物流コストが増加する可能性もあるので、今のうちから3～5日程度の配送で制度設計した方が良くと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。図書館としては、利用者の利便性を第一に考えております。
25	49	ア 図書等取次サービスの拡充 コンビニエンスストア図書等	「コンビニエンスストア図書等取次」が非常に良い。ローソンの狭山南入曽店は書店とコンビニの融合させた新形態とのことだが、「Society5.0」の観点から、図書館とコンビニを融合させた新形態をどんどん発展させて頂きたい。「返却」をもっと簡単に出来るとうれしい。いつでもどこでも「返却」出来るから「借りる」というような心理はあると思う。「コンビニエンスストア図書等取次」に一般的な返却ボックスを置くのは難しいのだろうか。「郵便局」は狭いオペレーションが洗練されていないと思うので難しいと思う。その点、「交番」はややスペースが余っており、「Society5.0」で警察が何をしたいのかわからないが、昨今「海外拠点からSNSで募集して犯罪を実行させる」ような闇バイトが普及しており、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させた犯罪が今後も増加することが予想されるなか、我が国の新しい治安維持の方法論として交番と図書館の融合を考えるべきなのではないかと思う。「コンビニエンスストア図書等取次」の使い方がイマイチ良くわからないので、YouTubeなどで動画を作ってほしい。	「コンビニエンスストア図書等取次が非常に良い。」とのご意見誠にありがとうございます。また、コンビニエンスストア図書等取次用の返却ボックスはコンビニエンスストアで貸出したもののみ返却できる運用となっております。容量の問題があり一般用の返却ボックスの設置は、難しいと考えます。
26	41	③ 魅力ある空間づくり	R4の「財政状況資料集」を見ると【図書館】一人当たり面積が0.019平方メートルで類似団体内順位でも下位グループだし、全国/埼玉の平均の0.037/0.032平方メートルと比べても著しく狭いと思う。所沢市元町にある所沢分館や公民館はURの再開発に伴い作られ60億円程度の事業費だと思うが、東京都多摩市の中央図書館事業費が40億円程度、東京都中央区の本の森ちゅうおう(京橋図書館)が事業費60億円程度だと、公共施設の作り方として少し洗練されていないのではないか、と感じる。所沢分館に関しては大きな広場があり、確かに広場から図書館の自動ドアまでは接続しているが、2つの自動ドアのあとの階段を上った2Fに図書館があるような公共施設の閉鎖的な作り方が、少し違和感がある。	貴重なご意見ありがとうございます。所沢分館につきましては、1・2階ともに図書館です。
27	49	ウ 図書館利用の利便性の向上	図書館開館中は「返却」ボックスを使えなくしているが、何故なのか。新所沢分館なり狭山ヶ丘分館なり2F以上に受付カウンターがあることが多く、面倒くさい。取替えて受付カウンターに来させることで、新たな図書館の貸出を促したいのかもしれないが、発想がチープすぎる。	貴重なご意見ありがとうございます。利用者のご意見として賜ります。

28	18 23	(4)基本目標④ 地域を支える (6)推進に向けた運営の施策	「椿峰分館」は、分館の図書館として、自然に囲まれていて静かで、本棚も様々な利用者を反映しており、街全体も歩車分離の観点があり、非常に良いと思う。こうした図書館が今後も強く存在して欲しいが、図書館の行方は街全体の行方に左右されるとは思った。こうした図書館で子供時代を過ごした人は大人になってどうなるのか、少し興味を持った。図書館の受付カウンターで座って作業しているのは良いと思う。ただ、椅子が安っぽすぎて腰痛にならないか心配になる。その椅子で長時間作業しろ、と言われたら自分ならばハラスメントだと感じると思う。そもそも借りる・返すだけの受付カウンターに関して、人間が必要なのか、も考える必要がある。UNIQLOのセルフレジなど参考にならないか。	椿峰分館への高評価ありがとうございます。椅子については、すぐに変更はできませんが、利用者からの声として、今後の参考にさせていただきます。受付カウンターは貸出・返却の他、レファレンスや読書相談も受け付けておりますので、どうぞご利用ください。
29	34	ア 外部研修への参加	取次のトーンも小型書店の開業をサポートする書店開業パッケージ『HONYAL』を2024年10月頃から提供しているが、図書館もこれまでの図書館像にとらわれずどんどん小型化して、様々なタッチポイントを増やすべきだと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。p49-50に記載のとおり図書等取次サービスの拡充等に取り組んでまいります。
30	41	ウ 魅力ある空間づくり	所沢ミュージズのカフェでも読書することあるが、個人的に非常に好きな時間(有料の学習スペース?)。2Fの「リフレッシュルーム」に行くといきなり照明が眩しくなり、落ち着かなくなるが、所沢市の図書館の照明計画はそれよりも劣悪に感じる。新刊書店の匂いや古書店の匂いなど独特のものがあるが、図書館の匂いはどの図書館も快適ではない。公共的な空間を作るときに、様々な意見を取り入れつつ「WELL認証」や「CASBEEウェルネスオフィス評価認証」などの認証も参考にして整理した方が良いと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。照明につきましては、個人差があると思われませんが、図書館としての照度範囲を満たしております。また、現在匂いに関しては、館内に消臭剤を設置するなどの対応をしておりますが、今後も工夫を重ね快適に過ごしていただけるよう努力してまいります。
31	45	イ 図書館ホームページの充実	elcielolには限界があるが、23人の職員で、Windows/MacやiPhone/Androidなど様々な端末を分担して欲しい。所沢市の面積の半分以上は市街化調整区域なので、そうしたエリアから図書館のサイトで予約検索出来るかも適宜確認する体制が必要。図書館やまちづくりセンターやその他の公共施設の学習スペースなどでリモートワークも適宜していくことも重要だと思う。「図書館要覧」のシステム構成図で、データベースがどこにあるのか良く分からなかった。検索システムもデータベースに内在しているものを使っているのか、別の検索システムがあるのか分からなかった。パフォーマンス向上の観点から、CDNやインメモリデータベースは使っているのだろうか。	貴重なご意見ありがとうございます。詳細についてお知りになりたい場合は、別途お問い合わせください。
32	48	イ 図書館施設・設備の充実	館内のco2の状況が遠隔地でも分かるようにして欲しい。空いている図書館の学習スペースを使いたい。多くの図書館でアルコールスプレーがあるが、気になる人は自費でウェットティッシュを持参すれば良いと思う。もし理由があり税金でアルコールスプレーを設置しているならば、もう少し公共施設のマネジメントを洗練させた方が良いと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。所沢図書館の読書席・閲覧席は、資料等の閲覧のための席としてご用意しており、その一部を館内の資料利用に限定せず、読書や学習等に自由にご利用いただける席としています。なお、スペースの関係で自由にご利用いただける席がない分館もございます。また、新型コロナウイルス感染症拡大以降、不特定多数の方が利用する施設には、除菌設備を求める声も多くあり、設置しておりますことをご理解ください。

33	50	ウ その他非来館者へのサービスの拡充	「コンビニエンスストア図書等取次」は卓越した取り組みだと思うが、やはり図書館の閉館時間に関しては原則として21時程度でお願いしたい。国勢調査を見ても「共働き家庭」「母子・父子家庭」で50%ぐらいの家族構成となっており、閉館時間が遅いことはそうした家庭や子供の利益になる可能性も感じる。図書館の閉館時間を遅くしたとしても、「コンビニエンスストア図書等取次」は、利用者とのタッチポイントを増やすという観点からその価値を失わないと思う。個人的には、ヤクルトレディと連携することで、「健康長寿のまち」の目標も実現出来ないかと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。閉館時間につきまして、現在21時までの開館を行っているのは新所沢分館のみでございますが、他館の開館時間の延長については、現状では難しいと思われまますので、ご理解ください。
34	51	エ 情報バリアフリー化の推進	図書館への自動車でのアクセスや駐車の方が良く分からない。電話でも問い合わせても良く分からないことが多い。「椿峰分館」などは駐車がやや面倒くさかったので事前にもう少し駐車場の状況を知りたかった。「椿峰分館」は受付カウンターに、コロナ禍に設置したと思われるプラスチックの仕切りのようなものもあった。SDGsの4も良いが、図書館へのアクセスに対する具体的な感覚が少し洗練されていないと思った。	椿峰分館の駐車に関するご意見ありがとうございます。ご案内の方法を工夫してまいります。
35	55	①子どもの読書環境の整備・充実	大阪の「こども本の森 中之島」がもし今後も継続的に集客できるならば、運営体制の巧拙もあるだろうが、建物や空間の力のようなものがあるのではないかと思う。東所沢の「角川武蔵野ミュージアム」の4～5Fにあるような図書館も、本を読みたいという需要だけでなく、空間を楽しみたいという需要を捉える観点から参考になるのではないかと。何故毎年の8億円程度の図書館予算でこうした空間を実現出来ないのか、不思議でもある。所沢市の半分以上の面積は宅地調整地域だが、都市計画法に新たに用意された田園住居地域のような地域で、農地や山林やその他自然と融合するような図書館があっても良いと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。p42に記載しておりますとおり、市民と情報が集まり、つながる場としての図書館を目指していきます。
36	42	ウ あらゆる世代が共有できる空間	「狭山ヶ丘分館」は、少し高齢者の拠点感を感じた。一方で、2Fにあるサークル活動が活発だったのも印象的だった。高齢者のサークル活動と「図書館」の融合、のようなものももっと見てみたいと思った。一方で、自分が子どもならばこの図書館は利用しにくいと感じるだろうと思ったので、そうした子どもへの配慮のために近くに「狭山ヶ丘分館」の分館を作るなどしても良いと思う。階段の壁の色(クリーミーグリーン?)が良かったが、そうしたことはわざわざ図書館アンケートで書かないと思う。	日頃から、狭山ヶ丘分館をご利用いただきありがとうございます。老人福祉センターさやまがおか荘が併設されているためそのような印象かもしれません。子どもが入りやすくなる工夫を考えてまいります。
37	52	① 所沢ゆかりの郷土資料の収集・整備 ウ 行政資料の収集・整備	所沢市や埼玉県の刊行物を検索するときに非常に検索しにくい。これはelcieloの問題というより、図書の分類をする体制にあると思う。	ご意見として賜ります。郷土資料の検索については、利便性が向上するよう工夫してまいります。

38	53	ア 地域社会のつながりの再生	<p>「入間市博物館 ALIT」「東村山ふるさと歴史館」「清瀬市郷土博物館」などに行くと最初のコーナーがほしい「武蔵野台地」がどうのこうのという内容だが、イマイチ良く分からない。所沢で下水道や道路工事をするとき地層が分かると思われるが、そうした工事を見学することである種の郷土資料館と出来ないか。例えば、今、所沢駅西口から東口にかけてトンネルを作っているが、50億円もの地方債を発行するならば一種の郷土資料の予算としても活用していくべきではないか。また、エミテラス所沢の屋上からその工事の状況が把握できるが、容積率が余っているので、「Society5.0」の観点からも、展望台と図書館を併設したような施設を緊急で作れないか。所沢の図書館分館は無駄に2Fや3Fにあるが、高層階にあることで景色が良い図書館はどのようなものか、市民全体で体験していくことが今後の公共施設を運営していくうえで重要になると思う。</p>	<p>様々な視点からご指摘をいただきありがとうございます。ご意見として賜ります。</p>
39	53	ウ 関連機関・団体との連携	<p>本館で映画上映するときは、航空公園記念館のシアターを借りられないか。公園/文化施設/図書館の連携は最近だと東京都多摩市の中央図書館がしているように思うが、航空公園が埼玉県のものであり所沢市でそうした連携が難しいならば、米軍基地を米国から返還するだけでなく、旧米軍基地を埼玉県から返還してもらいたいような運動も必要になってくるのではないかと。もし米軍基地が返還されたら、ロンドンのバービカン・センター(Barbican Centre)のような文化施設を建てられないか。音楽施設は、毎年7億円使っているだけあって「所沢ミュージズ」でも相当な水準に達していると思うが、図書館は(行ったことがないので分からないが)かなり発想を変えていく必要があると思う。公共空間の作り方に関する方法論が稚拙過ぎる点に一番の課題があると思う。2005年頃の「松井小学校・図書館の連携」「コンビニエンスストア図書等取次事業」などが大きく発展しなかったのも、図書館という空間が貧弱過ぎる点にあるのではないかと。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。図書館の映画会につきましては、所沢分館の多目的会議室にて月に2日間開催しておりますので、是非ご参加ください。また、本館についてもご利用をお待ちしております。</p>
40	55	① 子どもの読書環境の整備・充実	<p>「松井小学校」と「図書館」の融合、非常に興味深い。安藤忠雄氏が出掛けたような「こども本の森 中之島」が生活圏にあることは本当はもっと訴求力があると思う。確かに利用者や貸出数は減少傾向で、人口動態の変化などもあると思うが、運営体制を少し変えてみたらどうなるのか興味は持った。個人的には、空間の作り方が少し監視/管理的な雰囲気があること、「松井小学校」の前の県道(所沢青梅線)の自動車の交通量の多さが少し心理的な障壁になる印象もあった。</p>	<p>「松井小学校」と「図書館」の融合、非常に興味深いとのご意見誠にありがとうございます。ご意見として賜ります。</p>
41	57	オ 生涯学習施設・保健施設等との連携	<p>1億円程度の生涯学習系の事業との棲み分けが良くわからないが、様々な学び方があることは良いことだと思う。今の日本の生涯学習は、現実的に、中学校レベルの理科社会レベルを学び直すことが一番効率的だと思う。また、その際に文部科学省検定教科書が結局一番良い。所沢市でどのような教科書を使っているのか分からないが、どの教科も検定教科書は一通り複数冊揃えて良いと思う。必ずしも最新の検定教科書が良いとも限らないので、図書館に少し前の教科書があるのは有益。最近は教科書のデジタル化が進んでいるようだが、紙で学べる環境は絶対に必要。一方で、大学の世界ランキングを見ても、文部科学省検定教科書は暗記前提過ぎるので、他国の教科書を使った学びの方が合う人は一定数いるかもしれない。そういう意味で外国の教科書も一定程度購入してよいのではないかと。その際に無邪気に図書館予算の図書購入費を使うのではなく、国際交流系の予算(5千万円程度)なり外国人共生系の予算?を購入費にして欲しい。いずれにせよ、人生のどのタイミングでも何かを独学出来るような環境を提供することは、図書館の重要な公共的な役割だと思う。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。市民は、あらゆる資料に接する権利を有しており、市民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務と考えております。引き続き、所沢図書館が、その役割を担えるよう努めてまいります。</p>

42	60	2. 評価事項及び数値目標 【運営施策目標値】司書率	個人的に司書が増えることが何の意味があるのかわからない。一方で、たまに良い本棚があると感じる。原因は分からないが、それぞれの図書館の司書の方が専門分野に関してはもう少し本棚の方針を示しても良いと思う。新聞の書評も必ずしも面白くなってきているので、司書の方の書評をもっとカジュアルに読みたい。メルマガとか検討して欲しい。司書の方の書評をwebで公開していくにせよ、elcieloとは別のシステムを使って欲しい。	司書が増えることは、図書館業務に携わる専門職員であることから、図書館に必要なものと考えております。
43		蔵書数	日本の今の出版業界の問題は新刊本で面白い本が少なくなった点にある。図書購入費は基本的に新刊本に使われると思うが、そうなると図書館事業の未来が出版業界に過度に依存することになる。過去に出版された本を収集していく観点からも、もう少し寄贈を募ることは出来ないか。所沢市の統計を見ると3000~4000件の死亡数があるが、そのうち5~10%程度は数千円以上の書籍を大量に持っていたりするのではないかと。また、最近清瀬市では図書館の統廃合を予定しており、図書の寄贈が難しくなっているようだ。そうした他の自治体の動向も踏まえて寄贈本での資料収集体制も構築しても良いと思われる。その際に、リユース系の民間事業者と連携し、大量の寄贈を図書館で受け入れつつ、図書館で不必要なものはリユース系の民間事業者へ売却できないか。なお、大量の寄贈を受け入れるためには、一定規模の倉庫が必要だと思われるが、東所沢IC近辺にそうした倉庫を作っても良いのではないかと。コストコのように倉庫(warehouse)をそのまま図書館にしても良いかもしれない。今後大江戸線の延伸などで東所沢の状況が変わるときに、その倉庫を売却するか東所沢の特色ある等価交換で他の地域の土地を取得し、適切な場所に倉庫なり図書館を再配置しても良いと思う。	図書館の将来を見据えた様々なご意見ありがとうございます。ご意見として賜ります。

44	61	貸出密度	<p>図書館は、公共的な利益を追求するためにあり、利用者数や貸出数はその実現度合いの参考値としては重要だが、新刊本をどの程度揃えたかなどで変わる数字でもあると思う。</p> <p>ひとまず10予約10冊貸出ではなく20予約20冊貸出して欲しい。あることを集中的に調べたいときに10予約10冊貸出だと無理。もし20予約20冊貸出になったら自分の分だけでも500冊ぐらい貸出数は増えると思う。予約していない貸出が一定程度あることは図書館の本棚で「発見」機能を果たしている可能性が高いように思う。新所沢分館の新聞書評コーナーで蔵書があるものはマーカーが付いていたり、そのコーナーの前に最近返却されたものコーナーがあり、受付カウンターの近くに最近購入したもののコーナーがあり、個人的に結構「発見」することが多い。さすが指定管理者選定で1426点取っただけあると思う。図書館で「発見」した貸出の価値を、もう少し表現出来ないか。</p>	<p>貸出・予約冊数については現在の運用が適切と考えており、変更する予定はございませんが、利用者の皆様が今後も図書館で新たな「発見」ができますよう全館で取り組んでまいります。</p>
45	62	(5)未来を支える 評価事項「本を全く読まない子どもの割合」	<p>学校図書館が普及していくことは良いことだが、子どもたちから見て、図書館=学校の施設というイメージが強くなりすぎないようにした方が良くと思う。漫画をもっと積極的に収集してよいのではないか。東所沢の「角川武蔵野ミュージアム」の漫画ラノベ図書館も参考になると思う。大和市の有名な複合施設である「シリウス」も2万冊程度漫画があるようだ。中国などのアジア圏の漫画やサブカルチャー出版物の動向も興味深く、図書館としてそうした出版物を収集していく公共的な意義はあると思う。その際に無邪気に図書館予算の図書購入費を使うのではなく、国際交流系の予算(5千万円程度)なり外国人共生系の予算?を購入費にして欲しい。</p>	<p>ご意見として賜ります。ご紹介のあった他施設の状況なども確認しながら、市民の教養・調査・研究・趣味・娯楽等に役立つ資料を収集してまいります。</p>
46		全体	<p>「図書館要覧」を見ても「来館者数」が分からないが、図書館の活動が多様になっているときに、現状の状況が分かりにくい。「Society5.0」なのか職員数が5人ぐらいしかいなくても良いのではないかと考える。昔の「図書館要覧」と内容はほとんど変わらないのに、ページ数が増えて、良く分からないカタカナが増えて、やってる感だけ出している気もする。他にも、「複数の図書館の利用者数」「リクエスト数」「予約本数」「予約件数」「年代別貸出本数」「貸出件数」「返却と同時の貸出件数」「返却ポスト利用数」「一年以内に転入してきた人の登録数」「一年以内に転入してきた人の利用数」「登録してから利用していない人の数」などは継続的に公表する価値があると思う。図書館の利用者数は100万人程度(貸出利用者数は50万人程度)で、児童館や体育館などを含む他の施設よりも利用者数が多く、所沢市で最も利用されている公共サービスの一つに思える(参考:「所沢市公共施設長寿命化計画」)が、その認識で良いか。図書館の延床面積は8900平方メートルで良いか。年間1200～1500万人の来場者数を想定しているエミテラス所沢の延床面積が13万平方メートルのとき、平方メートル単位辺りの集客数はそこまで大差がないように感じる。「所沢市公共施設長寿命化計画」を見ると「松井図書館」はR33以降に「松井小学校」と統合することになっているが、もう統合しているのではないのか。公共施設に関する計画がハイコンテキストで分かりにくいことは非常に残念</p>	<p>来館者数については埼玉県図書館協会の「埼玉の公立図書館」で各館ごとに公開されています。また予約件数、貸出件数については「所沢図書館要覧」に掲載しております。他の項目については公開できる統計がございませんので何卒ご理解ください。R元年度の実績で所沢図書館8館全館の来館者数は1,001,084人、貸出利用者数は540,521人、延べ床面積は8941㎡です。なお延べ床面積内訳は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本館3578.87㎡ 所沢分館2335.72㎡ 樺峰分館724.278㎡ 狭山ヶ丘分館498.13㎡ 富岡分館337㎡ 吾妻分館234㎡ 柳瀬分館389㎡ 新所沢分館843.51㎡ <p>なお、松井小学校図書館は地域開放型の学校図書館です。</p>

47	運営	<p>「予約受付件数」がH29の377944件からR5は409828件で増加しているが、貸出件数が減少しているのは何故か。「児童書」の定義には「13～19歳向け本」も含まれるか。「13～19歳向け本」の統計も見たい。「コンビニ」のAV貸出数はR2からR5まで一貫して増加傾向だが、何故か。漫画なども「コンビニ」貸出を積極的に進めるべきではないか。特に、ひきこもりや不登校の方の復帰の際に「コンビニ」から初めて「図書館」そして「学校」のようなアウトリーチ的プログラムが144億円の教育費の枠組み内であり得るのではないか。「新所沢分館」「所沢分館」「富岡分館」はH29からR1に掛けて貸出数が増加傾向に見える(新所沢はH30からR1で微減なのは気になる)。「所沢市統計書」を見ても富岡地域は人口が増えていないが、これらの貸出数の増加はどのように説明できるのか。R2以降は何かが変化したように見える。それは「清潔概念」なのか「デジタル化」なのか。多摩市は中央図書館のオープンを契機に寧ろR5以降に分館を含めて貸出数が増加傾向なのと、八王子市は電子図書館の貸出数が増加傾向であることなど、他の自治体の統計を踏まえた議論が重要だと思う。移動図書館を、敢えて図書館が所在するエリアの近くで実施して、認知を獲得することでどの程度その図書館の利用者が増えるのか気になる。resasの地域経済循環図を見ると、所沢市全体の1.4兆円の所得のうち、所沢市で消費されるのは8700億円程度で、残りの5300億円は地域外で消費されている。詳細は見えていないが、5300億円のうち政府支出が一定の割合を占めていると思われる。図書館予算を執行する際に可能な限り地域内で消費するようにして欲しい。図書館予算で地域全体の出版文化に関係するエコシステムを形成していくのも重要。所沢市の図書館を使っていると、ルールの内容や情報発信の仕方や統計データの質など全体的に学校の先生とのコミュニケーションを思い出すことがある。図書館法で教育委員会が図書館の運営を管轄することを初めて知った。それはどこの自治体も同じだと思われるが、所沢市の場合は教育委員会と図書館の関係が密接なのかもしれない。その印象が正しいとしても、「松井小学校」と図書館の統合、図書館予算がやや不可侵的な予算になっていることなど良いことにも感じる。リスクとしては2つあると思う。ひとつは「青空教室」のように劣悪な空間で学ぶことを礼賛する傾向があること、もうひとつは「読書」の概念が狭い傾向があること。特に、後者は、電子図書館プラットフォームなどが外国で生まれてそれを使わざるを得なくなると、図書館の運営費が高くなるので、早めに対応していただきたい。議会で図書館ロッカーの話題があったが、個人的にはエミテラス所沢の映画館のレイトショーを見終わったあとの帰宅導線に置いてもらえるとありがたい。駅ならば東所沢が良いのではないか。そもそも東所沢エリアは新しい学校が増えているのに図書館や学習スペースを提供する公共サービスが無いことが残念。学生時代の場所は、感情の原始的蓄積がされる場所であり、そうした感情の原始的蓄積がマルクスの言う資本の原始的蓄積に発展するのであり、彼ら彼女が将来の拠点として所沢を選びたいような状況を作るために図書館が出来ることは多い。サクラタウンは53億円程度の減損損失を出しているなか、ソニーが運営会社を買取すると観測もあるが、その場合、ビジネス系の図書館を作ってみたらどうか。ビジネス系の書籍やデータベースが充実している図書館は千代田区だと思うが、逆に言うと日本の図書館業界が考えるビジネス図書館はこの程度の水準であり、失われた30年が何故失われたのか感じられる場所となっている気がする。議会の議事録を読んで、松井図書館は当時のPTAやコミュニティからの強い要望があり実現した側面があることを知った。図書館の健全な運営にはそうした中間団体が必要な気がする。三ヶ島の工業団地エリアもすぐに図書館を作るのではなくて、そうしたコミュニティが形成されてからの方が良いのかもしれない。「木材利用促進法」の観点からも木材で図書館を作るべきだと思う。区画整理事業の計画図を見るとそこまで広い用地が確保されていなさそうだが。。。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 H29年度からR5年度にかけての貸出冊数の減少の要因として、本館、吾妻、柳瀬分館の施設改修工事による休館やコンビニエンスストア図書等取次事業の取扱店の取扱中止などが考えられます。R2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため全館休館したため、大幅に利用者が減少しました。なお、他のご提案につきましては、ご意見として賜ります。</p>
----	----	---	--

48		子どもから高齢者まで	<p>最近「吾妻分館」に平日夕方に行ったが、図書館内に子どもが0人で高齢者が2人で全体的に閑散としていた。分館が所在する建物内のテーブルではたくさんの高齢者がたむろしていた。自分が子どもならば、この雰囲気、この図書館を1人で利用するのは難しい気がした。児童書はR5で29,002冊貸出があるようだが、土日に親と子どもが来ているか、親が借りているのだろうか。個人的には、団体貸出の動向も気になった。所沢市内でコロナ前から貸出数が顕著に減少傾向な図書館は大体どこも同じ雰囲気に感じる。こうした雰囲気は、地域全体のコミュニティの変化を反映しており、図書館の統計が幅広く公開されることは、地域の統計としても有益に思える。「柳瀬分館」は、体育館に併設しているからか、週末に子どもと親が建物内に多数来ていることが興味深かった。複合施設にある図書館で、他の施設が図書館にとって意味がある事例として稀有なものとして印象に残った。1Fに地域の方のアート展示などもあり面白かった。ただ、図書館に入った目の前に、アルコールスプレーがあるのが違和感あった。そのコーナーの近くにあるソファで本を読んでいたら、別の方が消毒をする際に発せられたアルコールのせいで頭痛が発生した。うまく言えないが、全体的に来館者を歓迎している雰囲気に感じなかった。子どもからしても、大人が居る空間に行くのは一定の抵抗があるときに、良くわからないスプレーが置いてあったら入りにくいのではないかと。児童コーナーに行く際も受付カウンターの前を通る必要があり、監視されているような感覚を持つ気がする。体育館の利用者がどの程度図書館まで実際に利用するのかは気になる。建物自体をリノベしたら面白い気もした。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 全館で子どもたちが利用しやすく、来館者を歓迎するような雰囲気づくりに努めてまいります。 また、新型コロナウイルス感染症拡大以降、不特定多数の方が利用する施設には、除菌設備を求める声も多くあり、設置しております。</p>
49		KPI	<p>図書館から半径1kmのエリアに歩行者用信号は何個あるか。それを0にするのもKPIになるべき。PDCAという言葉は前回のビジョンから記載されているようだが、挙げられている5つの目標がどれも漠然としすぎていて、逆説的に図書館という公共サービスで数値目標を設定してその達成率で評価をするというようなやり方が難しいことを示唆していると思った。議会の議事録を読んで、自分が利用していた図書館でwifiが使えるようになってのを知った。議会の議事録は図書館の広報誌なのか? 指定管理者は何をしている? pdcaというより「自己批判」をするべきなのではないか? 「レファレンスの件数」をもう少し細かく知りたい。年齢別件数、市役所職員・議員等からの件数など。中学生高校生からのレファレンス件数が一定数あると興味深い気がする。「司書率」が何故図書館運営のKPIになり得るのか、良くわからない。図書館運営にとって司書が多いことが何故重要なのか、毎週毎月その目標を達成するために何をするのか、達成されないときに何をするのか、のイメージが全く湧かなかった。分館に関しては、指定管理者を選定するときの点数に反映すればよいのではないかと。本館に関しては、採用時のKPIにはなり得るとは思う。蛇足ながら、不動産分野でも従業員の宅建取得率はその会社の不動産サービスをほとんど示していないと思う。2016年に取次が積極的関与する前の「八重洲ブックセンター旧本店」の書棚は評価が高かったが、そうした店舗の元書店員など多様な人材が図書館運営に関わる体制の方が重要に感じる。「資料回転率」というKPIが唐突に出てきた気がする。「蔵書数」が母数にあることで、「蔵書数」を抑制することになるのではないかと。学びを支える観点からは、「一人当たり貸出数」や「一回でも借りた人の数/人口」などの方が個人的には自然に感じる。多摩市や浦安市で20%程度のように、所沢市だと10%程度(R5で36717人/343529人)なのだろうか。結局、3D化されたとされる鈴木家の資料はどこで見れるのか? 2年前のR4の文化財保護委員会の議事録がもう見れないので建物の解体までの経緯は不明だが、もう少し予防的に郷土資料を保全していく体制も必要なのではないかと。「受入相談数」の方がKPIとしては適切に感じる。相談数の1%ぐらいは受け入れ冊数になるのではないかと。また、相談数が少ないことで広報や相談体制をkaizenしていくイメージ、相談数のx%があまりにも少ないときにkaizenしていくイメージはわかりやすいと思う。</p> <p>こうした相談があったときに郷土資料だけでなく、一般的な書籍やCD/DVDも受け入れるべきだと思う。所沢市は用地買収が下手そうに見えるので、土地の寄贈も積極的に受け入れるべきだと思う。このビジョンの残念なところは、所沢市の図書館に土地を寄贈して、「市民の教育及び文化の発展に寄与」出来るイメージが湧きにくい点にあると思われる。子供が本を読む習慣を持つかは、親の読書習慣や子供が欲しい本があったときにすぐ買ってくれるか等々の家庭環境も重要。公共サービスとしての図書館のコミットメントは、子供が図書館に来るという習慣を形成することぐらいが良いと思う。「本」を全く読まなくても、(YouTube等で情報を得て)面白い発表やアウトプットをする子どもが居たら興味深いし、そういう子どもの活動も支えられるようになるべき。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 指標は「所沢市教育振興基本計画」を踏まえ、図書館協議会の意見も取り入れながら設けておりますことから、現状のとおりとさせていただきます。また司書は、図書資料の選定・発注・受入から分類・目録作成、貸出業務、レファレンス、読書案内などを行う専門職員であることから、図書館に必要なものと考えております。</p>

50		空間	<p>「和式トイレ」は所沢スタイルなのか？市役所の「和式トイレ」が5億円程度の予算を掛けた改修で洋式化されるようだが、あと10年ふんばれば寧ろ「和式トイレ」がカッコいいとなるかもしれない。図書館の「和式トイレ」は郷土資料保全の観点からも無理に全てを洋式化しなくてよいのではないかと。「Society5.0」も国民がしっかりとふんばらないと良い政策にはならない。経産省にはジェンダーフリーのトイレもあるようだ。中国の「ニーハオトイレ」ではないが、隣の人の壁がそもそもトイレに必要なのか、というようなネイバーフリーの発想も建物管理費削減のために積極的に参考にすべき。「コンビニ取次」の一番の問題は、所沢市のコンビニ前でタバコを吸う人が多いこと。だが、受動喫煙のリスクを背負ってでも、自分はコンビニで本を借りたい。何故ならばそれ以上に所沢市の図書館の空間は苦痛だから。いろいろな「椅子」があって、「天井高」が高いだけでも空間の見せ方は変わると思う。本館は、戸田市文化会館に外観が似ていると思った。内部の空間の作り方など参考になるのではないかと。こういう建物の外観はブルータリズムというのだろうか。</p>	<p>図書館では、利用者の利便性を第一に考えており、施設の改修等もそれに沿った形で進めてまいります。</p> <p>空間についてはp41に記載しております。図書館の空間が居心地の良い場所となるよう、p41～42に記載のとおり取組を進めてまいります。</p>
51		他の事例、研修	<p>他の図書館の運営で所沢市が積極的に学ぶべき事例は特に無いと思う。参考にすべき事例はあると思うが、5～10分ぐらいの電話を担当者同士すれば良いのではないかと。所沢分館のように、容積率が500%の高度利用地区で再開発したのに250%しか容積率を消化しない建物に60億円払って、そのうちの図書館分に毎年4000万円ぐらい払うのはいかがなものかと思うが、それは図書館の運営の問題というよりは、都市開発の問題に見える。狭い館内で肩を寄せ合いながら利用し合う、まるで米軍に空爆された所沢の防空壕を再現した郷土資料館の一展示内容であるような図書館には限界がある。国会図書館の「調査と情報」のような定期的な刊行物があると議会の議論を理解するのに大いに役立つと思う。所沢市では2年以上前の政策を調べるのが非常に難しくなる。それは「所沢市の会議の公開に関する指針」の運用で「会議を開催した日の属する年度の翌年度の末日まで」しか所沢市のホームページに掲載されないため。国のホームページは国会図書館がアーカイブ化しているが、同じようなことを所沢市の図書館でもすべきだと思う。ストレージの料金は、高頻度でアクセスするものと低頻度で稀にアクセスするものでは料金が違うので、そうした料金体系も踏まえてアーカイブ化していくことは一定の合理性があるのだと思われる。今後指針の運用が多少変わっても、図書館が所沢市の過去の政策の情報提供に積極的に介入したほうが良い。日本の大型書店は、取次が資本参加するなど積極的関与することが増えており、書棚の個性が失われている。また、書籍よりも雑貨や物販が主な収益源なので、書籍の扱い方が非常に雑になっている。書店での体験は総じて悪く、個人的には、そうした大型書店で書籍をあまり買いたくない。彼らが日本の書籍文化が衰退している云々と主張したとしても、図書館の運営とは関係ないことも多いと思う。</p>	<p>様々な視点からの貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>郷土資料の電子化についてはp52に記載のとおり取り組んでまいります。</p>

52	34	(3)安心して利用できる環境の構築	<p>私が椿峰図書館へ参るのは週に平均三日です。開館前に閲覧室などに掃除機を掛け、開館前後に洗面所等を掃除し、以後は主に図書館周辺を清掃します。椿峰分館には駐車場と図書館入り口の間に長い階段があります。ここを私が掃除している時間は、季節にもよりますが1-2時間です。したがって、一日に7時間半、図書館は一週間に六日つまり計45時間開いているなかで、ほんのわずかの時間、階段にいるにすぎません。しかし、その僅かな時間に色々な利用者の方々を目にしますし、言葉を交わすこともあります。気になるのは、赤ちゃんを抱いて階段を上り下りするお母さんや、歩くのに苦労されている高齢者の方々です。片方の手で乳児を抱いて、片手でもう一人のお子さんの手を引いているお母さんなど、長い階段(40段あります)歩かせるのは危険です。この方たちは次回も図書館に来てくれるのだろうか、心配になります。現状では図書館内をバリアフリーにしたとしても、ほとんどそれが無意味になるような障害がたちはだかっています。もちろん対策はとられています。駐車場から図書館通用口へは若干の傾斜があるだけで、そこから室内の短い階段を一階上るだけです。このルートを利用する方も稀にはいます。ただ、それはいわば非公式の通路になっていて、普通には使いづらい入り方です。ここまで、椿峰分館のお話を書きました。私は椿峰分館以外の図書館本館・分館の実情を目にしておりませんので、ここで申し上げたのは、椿峰分館の例であるご理解ください。それぞれの本館・分館により、立地条件も利用者の事情も異なってくることでしょう。しかし、そうした個々の館の事情を精査の上、図書館のアクセスを誰にとっても容易にすることは、非常に重要と思われる。もう一点、現在椿峰図書館の敷地でシェアサイクル(レンタサイクル)が利用できるようになっています。これには私も賛同しておりまして、他の分館でも同様の便宜があると良いと思います。ただし、清掃をする者としては、この自転車と駐輪のための器具が、掃除をいささか阻害しているという現実もお伝えしなくてはなりません。レンタサイクルを拡充するにあたっては、この点にもご配慮いただけると助かります。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。施設の安全上適切な管理・運営を図るため、必要に応じ修繕を行っているところですが、大規模な修繕につきましては相応の費用と計画を要することから、早急な対応が難しい状況があります。椿峰分館は、地形上の理由から、駐車場からは長い階段を上らないと入館できないような構造になっており、小さい子どもを連れの方や、高齢者にとっては、厳しい状況にあることは、理解しています。そのため、図書館のアクセス面とあわせて、研究してまいります。</p>
53	36 40 51	多文化サービス	<p>「日本語を母語としない人」への配慮が語られています。実際にそうした人は所沢でも増加傾向にあるようです。となれば、多言語での蔵書を増やしていく必要があるのでしょうか。現状を考えれば、英語の新聞・雑誌を若干備えるのがもっとも現実的だと思います。英語ならば、日本語母語話者＝大部分の利用者にとっても有用です。そして、英語以外の言語にまでコレクションを拡げるのは際限がなくなるような気がします。現在でも一定の数の外国語図書は所蔵されているようです。椿峰分館ですと、書棚一つは外国語図書で占められています。ただし、体系的な選書・購入の形跡はありません。もしも、日本語母語話者以外に配慮するとすれば、英文の新聞か雑誌を配架すること、本館と各分館に英文で掲示を出して、外国語図書はそろえてはいないが、申請すれば県立図書館その他から取り寄せることができる旨、通知してはいかがですか。「多文化共生社会」が言及されています。数千人の死者を出しながら紛争解決の糸口が見えない「多文化社会」で数年間生活した経験を持つ者は、この言葉にそう明るいイメージを持っておりません。もちろんビジョンを描かれた方には、お考えがあつてのことと思いますが。</p>	<p>ご指摘のとおり、所沢市においても、日本語を母語としない方の人口が増えています。貴重なご意見の一つとして、今後の事務の参考にさせていただきます。</p>

54	52	地域を支える図書館となるための研究グループ育成	<p>公立図書館という、自由に使える部屋と蔵書を備え、地域の人々が立ち寄りやすい場所を、地域を支える拠点にするというお考えに、私も賛同いたします。有効な手段として考えられるのは、図書館で活動する探求グループを立ち上げることです。地元の自然、歴史、産業、社会等を勉強する世代横断的集まりを、図書館から作れないのでしょうか。月に一回程度の会合(研究会)を会議室で開き、年に1-2度展示や研究発表を閲覧室ないし別の部屋で行えば、図書館の活性化にもつながります。研究成果の出版は現状では難しいですが、図書館のホームページに掲載することはできるかと思えます。一定の予算をこのグループに割り振れば、活動の促進につながります。もちろん、実現は容易ではありません。メンバー集めもさることながら、グループをしっかり運営していける人がいなくてははいけません。椿峰分館につきましては、私がまとめ役を引き受ける用意はありますが、全8館でそうした人が見つかるかは、存じません。現在、市内の公民館(本館・分館)、まちづくりセンターその他が、こうした文化活動の拠点になっています。これらと図書館での活動が競合する必要はありませんが、図書館を利用したほうが、使用料がかからない、研究成果を発表する場として図書館が使えるなどの利点がありそうです。最近、私が参加しているあるサークルが、場所が確保できないので、次の会合の予定を変更したことがあります。ということは、公民館等の現在のキャパシティでは間に合わないことも起きているようです。ですから場合によっては、既存のグループに活動の場を図書館に移してもらうことも考えられます。ただし、音楽や舞踊などのサークルの活動には、図書館は馴染まないかもしれません。また、分館によっては、まさにこれらの公共施設の中にあるというケースもみられるようです。となると、図書館を活動の拠点にする、あるいは拠点を図書館に移すという考えは、一部の分館では馴染まないかもしれません。図書館を活動場所にした研究グループ形成の留意点は、それが年代横断を可能にするように作るということと想われます。現行の諸活動は、例えばシニア対象、あるいは主婦層がターゲットになっています。市内にはおそらく2万人以上の高校生と大学生が居住していると推測されます。彼らを市立図書館で見ることは稀です。この高校・大学生をグループに引き込み、それがきっかけで図書館利用者になってくれれば、何重もの意味で成功でしょう。なお、12月17日に椿峰分館で開かれた埋蔵文化財についての講演は、満員でした。向学心ある人々は、少なからず地域にいらっしゃるようです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。図書館でのグループ立ち上げというご提案でございますが、公民館等の活動の場と棲み分けを行ってまいります。</p>
55		SNSでの発信	<p>所沢市立図書館のウェブサイトは存在し、図書館と利用者の双方に活用されています。フェイスブック等のSNS上にはそうしたページが見当たりません。SNSで所沢市立図書館の存在とその諸活動をアピールすることは、SNS利用者が著しく増大しつつある昨今では、とりわけ効果的と思われれます。特に、上記の学習グループの立ち上げ、メンバー集め、展示会や発表会の告知に威力を発揮すると期待されます。おそらく問題となるのは、誰にこの仕事を委ねるかです。在宅勤務に格好の仕事内容なので、以前図書館で働いていたが、出産や子育てなどの事情で退かざるを得なかったか、これから退こうとしているスタッフが最適ではないかと思えます。仕事量と報酬額については、当方では詳らかではありません。もちろん、現在ウェブサイトの運用などを担っている方にもお願いすることも可能ですが、ただ仕事を増やしてしまうのでは、積極的に関わってはもらえないかもしれません。やはり一定の予算を支出して、新たな雇用にするのが良いと思えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。SNSとインターネットの活用につきましてはp45に記載のとおり今後取り組んでまいります。</p>
56		全体を通して	<p>所沢図書館ががんばっておられるのはわかりますが、貸出数、貸出利用者数、登録者が減少していますし、各基本目標ごとの課題もたくさんあります。それに対して、今回の(第3次)基本方針は何も変わっていません。例えばですが、他市や他町の例で基本方針のひとつに「町民とともに発展する図書館」「多様な主体との協働・共創」などの柱があります。所沢市で市民の声を聞いているのは利用者懇談会(各館年1回)とアンケートのみのように思います。今までと同じことだけでなく、もっと開かれた図書館をめざしてほしいと切に希望いたします。</p>	<p>ご意見として賜ります。市民の声が図書館運営に反映される新たな方法を考えてまいります。</p>
57	42	ウ あらゆる世代が共有できる空間	<p>「図書館を居場所として利用したいという要望を踏まえ、今後機会を捉えて滞在しやすい空間の整備など居心地のよさや快適性を向上させます。」←本館・各分館 期待しています</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ご期待に添えるよう、継続して尽力してまいります。</p>

58	58	カ 子どもの読書に関わる人材の育成・支援	読み聞かせやおはなしに携わるボランティアの養成及び技術向上のための講座を開催し、小中学校や地域などで活動する読み聞かせボランティア等に対する支援を行います。「広報とこざわ」にもありましたように、所沢市の「すべての子どもに読書のたのしみを」の実現に向けては図書館に来る子どもだけではなくすべてとは言えません。小中学校(主に小学校)での全クラス全児童への読み聞かせに図書館が目を向けてほしいと思います。現役のお母さん(おとうさん)たちはどんどん忙しくなっています。読み聞かせが続けられなくなっている現状があります。図書館で講座を受けた方を図書館のボランティアだけではなく、小学校とつながってほしいと思います。所沢市のすべての子どものことを本気で考えるのでしたら是非ともお願いしたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。このビジョンのほか「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」にも基づき取組を進めてまいります。
59	48	ウ 読書に関わる地域活動に対する支援	図書館外でも本に触れることのできる環境のひとつとして「学童保育」もあると思います。今後、地域活動の支援を学童保育にも広げていただきたいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。団体登録をされて、本の貸出を受けている学童保育などもすでにございますが、さらなる広報を行いサービスの周知に努めてまいります。
60	51	ウ 様々な市民に配慮した資料・機器の充実	今年度「布絵本」が所沢市立図書館の蔵書に加わったと聞いています。配慮が必要な市民への支援として明記してほしいと思います。	布絵本の貸出に向け、現在整理を行っていることから、ご指摘のとおりp51に布絵本の文言を記載いたします。配慮が必要な方に限らず様々な市民の方にご利用いただけるよう整備を進めます。
61	55	ア 幼児期の読書機会の提供・充実	「1歳6か月——チケットを配布して…子育ての不安解消を図り…」とありますが、このことで子育ての不安解消を図れるとは思えません。文章が理解できません。	修正いたします。
62	57	ウ 学校図書館への支援	p20の第2次ビジョンの取組と成果の中の(2)で、県立6高校の司書と懇談、情報交換とあります。p57第3次の(5)の②のウには、団体貸出の推進と連絡業務便のこししか書いてありません。今後所沢市で「広報とこざわ」にありますように「すべての子どもに読書のよろこびを」をめざすのであれば、すべての子どもが通っている小中学校の学校図書館と連携する必要があると思います。できましたら、所沢市の各分館ごとに図書館司書と小中学校学校司書の懇談会及び情報交換を計画に入れてほしいと思います。また、このビジョンが5年間続くのであれば、将来的に小中学校全校のデジタル化と公立図書館をオンラインでつなげ、相互利用(学校間を含め)できるシステムの構築をめざしてほしいと思います。	小中学校の学校図書館との連携については、p58-59に記載しているほか、市全体で取り組んでいる「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて取組を進めてまいります。
63	14	(2)読書環境の向上	「リサイクル本コーナーの拡充」しかないのはまことに情けない。もっと積極的な案がないのか。	ご指摘のp14は第2次ビジョンの取組と成果の一例として記載しており、第3次ビジョンでの読書環境向上につきましてはp48の記載をもとに取り組んでいきます。
64	6	(1)貸出数・貸出利用者数・登録者数	貸し出し数などが減少している。図書購入費は変わらず、蔵書数は増加しているのにこうなるのは、購入する資料の魅力や、市民へのアピールの仕方が根本的に間違っていると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。登録者数の減少の影響が貸出数等すべての数字に影響していると思われます。また、他市でも貸出件数の減少は見られることから読書離れの影響も考えられます。

65	9	(5) 県内図書館活動調査	<p>一人当たりの貸出冊数を見ると、入間、狭山、飯能よりも少ない。わたしは狭山市から転居したので、特にたった2館しかない狭山よりもこれだけ少ないのは図書資料の魅力の違いと思える。図書館の利用者を惹きつけるチャンスとして、子ども(乳幼児)と親としての利用が考えられる。人気の児童書の購入や普通の子ども(元から本が好きという子どもじゃなくても)が喜ぶお話し会の開催、居心地のいい居場所としての図書館のアピールなど、今までのやり方を超える方法を具体的に考えていかなければならない。選書の仕方、他館のやり方を参考にしていかなければ、購入費の無駄となる。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。図書館には資料保存の面や居場所の面もあり、貸出冊数が多いことだけが良い図書館とは言い切れない面もありますので比較に留めております。p43にあるとおり現在および将来にわたる市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、幅広い分野の資料収集に努めます。</p>
66	10 11	(3) 魅力ある空間づくり 【課題】	<p>テーマ展示だけでは残念です。図書館にこない方たちにアピールできる取り組みを考えて欲しいです。課題の4番目、5番目の課題を解決するためには、施設の新設を考えることも大切だと思います。すぐには実現しなくとも、普段図書館を利用しない方たちの意見も集めながら、図書館員以外のメンバーでこんな図書館を作りたいという展望をじっくり練っていくのは、図書館への興味も増すプロジェクトになると思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。第3次ビジョンでの読書環境向上につきましてはp41-42の記載をもとに取り組んでいきます。</p>